



大陽日酸100周年を迎えて

The 100th Anniversary Celebration of the Foundation of Taiyo Nippon Sanso Corporation

代表取締役社長 川口 恭史
KAWAGUCHI Yasunobu

この度、弊社は1910年日本酸素合資会社の創業から数えて、本年度100周年を迎えました。これも株主様、お取引先様、特約店様等多くの方々から長年にわたり頂戴いたしました、ご支援、ご高配の賜物であり、謹んで御礼申し上げます。

創業以来、弊社は国内における経済成長の中、鉄鋼・化学・エレクトロニクス分野をはじめとする幅広い分野の成長とともに歩み、現在に至るまで時代のニーズに応えた開発を行い、確立したガス関連応用技術（ガステクノロジー）が現在のメーカポジションを築き上げてまいりました。弊社技術をいち早く皆様にご紹介する役割を担う、「大陽日酸技報」も第29号を数えるまでに至り、工業ガス業界に限らず、さまざまな分野の方々にご愛読頂いていることは、非常に喜ばしいことと感じております。

世界経済が大きな潮流となり変化を続ける中、国内製造業の一部では、中国をはじめとする新興国の経済成長などにより生産拠点の海外移転が増加傾向を示すなど、グローバル化の波が押し寄せており、世界に発信できる新しい技術が求められています。

弊社は、このような状況の今こそ、原点に立ち返り、基礎固めを行い、その上で更なる技術開発を進め、次なる五十年、百年に繋がたいと考えております。エレクトロニクス分野ではLED、太陽光発電、液晶、化合物半導体等関連の開発に引き続き取り組みます。また、空気分離装置の電力消費量の削減に向けた技術開発も重要なテーマです。更には今後の成長領域として「地球環境」「資源・エネルギー」「医療」「食糧」に注目し、社会ニーズを先取りした新たな取組みを積極的に展開していきたいと考えております。

“大陽日酸技報”はこれからも大陽日酸グループの技術を社会へ発信していく役割を果たしていきます。弊社はこれまで永く培ってきたガステクノロジーの蓄積を基に更なる社業伸展を目指すとともに、弊社事業を通じてあらゆる産業・社会に貢献する努力をして参りますので、引き続きご高覧いただき、大陽日酸グループに新たな「風」を加えていくことのお力添えを心よりお願い申し上げます。